SDGs達成に向けた取組みチェックリス 更新

事業者名：株式会社 興農園

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		・業務方針を明文化し、ホームページ等で外部に公表することに加え、経営者はあるべき姿を従業員に説明し共有している。 ・経営理念や年度目標を社内に掲示し、目標達成に向けて実践している。								8	9								17
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・法令遵守の規定があり、法令遵守の重要性を全従業員に向けて発信している。 ・eラーニングにて全社員がセミナーを受講できる環境を構築しコンプライアンスに関するセミナーを毎年一部社員が受講している。 ・外部講師を招きハラスメントに関する研修も実施している。																16	
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・不公正競争行為を含む行動規範を整備し、明文化している。仕入先等に対し、不当な値引き圧力が無いか確認している。 ・経営者からあるべき姿を従業員に説明し、共有している。										10						16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・自らの事業活動が、社会、環境に及ぼす正と負の影響を把握している。 ・総務部門の増員・管理強化など体制構築に取り組んでいる。																16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・知的財産や営業秘密の保護を徹底している。知財には農業分野においてこれまで培った技術、経験、ノウハウを含む。 ・知的財産に関する管理職研修を実施し、従業員の啓発に取り組んでいる。								8.2 8.3	9							16	
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・規定があり、情報漏洩防止を徹底しており、情報漏洩事故に対する具体的な対応策を策定している。 ・SECURITY ACTION 二つ星を取得している。 ・eラーニングにて全社員がセミナーを受講できる環境を構築し、個人情報保護に関するセミナーを毎年一部社員が受講している。 ・新入社員研修にて個人情報保護に関する内容を実施している。																16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	●		・顧客の声を大事にし、双方向コミュニケーションに取り組んでいる。 ・取引先や行政機関、金融機関など、ステークホルダーと連携した取り組みを行っている。																16	17
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる。		●	・地元農家など取引先の取り組みに関心を持ち、対話に努め、連携した持続可能な社会づくりに向けた取り組みを行っている。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画（BCP）を策定し、訓練や見直しを行っている。		●	・災害に備えて事業継続力強化計画を策定し、定期的に見直しを行っている。 ・【予定】1年以内にBCP策定を予定している。									9		11		13.1			16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●	・次世代への継承を行い、継続して指導、育成に取り組んでいる。 ・組織再編を行い、権限移行などの再構築を行っている。								8	9								17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		●		1	2			5			8				12	13	14	15	16	17
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・あらゆる雇用条件において、差別しない体制、運営を徹底している。 ・ハラスメント禁止について、就業規則に定めているとともにハラスメント窓口を設置している。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・朝礼や全体会議等で労働上の安全に関する情報共有を行っている。 ・必要な研修の実施、設備見直しなど継続的に環境整備に取り組んでいる。			3					8.8									
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・従業員（正社員・スタッフ・パート社員）の公正な待遇を行っている。					5.5			8.5		10.2 10.3							
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・公休日の増加（年間休日111日→116日）、時短勤務対象年齢の拡大、男性育休取得推進などの働き方改革を実施している。 ・RPA導入、ワークフロー見直しによる過度な長時間労働の削減を推進している。			3		5.5			8.5 8.8		10.3							
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・大学院学費負担や資格取得のための費用補助制度を導入している。 ・社内セミナーを実施しスキルアップに取り組んでいる。 ・部門横断型プロジェクトチームによる新規事業へ取り組みなど能力開発の機会を提供している。				4	5.5			8	9								
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・健康経営優良法人に認定されている。 ・人を幸せにする経営大賞を受賞している。 ・無償の社員食堂設置など従業員への健康維持に取組んでいる。 ・婦人科検診の費用を会社負担し受診を推奨している。			3					8									17
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・えるぼし認定を取得している。 ・女性の役員、管理職登用を行う等、多様な人材雇用と適切なマネジメントの環境整備を行っている。 【予定】1年以内に技能実習生の受け入れを予定している。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。		●	・Web会議等の積極的な導入により、新しい生活様式への対応を行っている。 ・採用活動やセミナーにおいてもWebへシフトしている。 ・リモートワークの環境を整備し、従業員の状況に合わせて柔軟に対応している。			3					8	9.1		11	12					
	20	【デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●	・ハウスナビ導入等、DXの推進を図ることで、更なる事業拡大や常識に捉われないイノベーションを起こし続けている。 ・DX推進室の設置、DX認定取得など積極的にDXを推進している。 ・スタートアップ企業と協働してアプリ開発に取り組むなど、ビジネスモデル変革に取り組んでいる。 ・心身に負担が生じる業務の機械化・自動化、クラウドシステムの利用拡大などのDX推進に取り組んでいる。								8	9.1		11	12					
	21	【ブライト企業】 ・ブライト企業に認定されている。		●	・ブライト企業に認定されている。			3	4				8	9			12					

SDGs達成に向けた取組みチェックリス 更新

事業者名：株式会社 興農園

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・サプライチェーンにおける廃棄物や有害化学物質を把握し、適切な管理及び処理に取組んでいる。 ・食堂で出る廃油をリサイクル業者へ提供している。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・電力やガソリンなどエネルギー使用量を把握し、太陽光発電と蓄電池を設置するなど削減に取り組んでいる。 ・エアコン設定温度、利用しない機器の電源OFFなど日常的な節電について従業員への啓蒙活動を実施している。							7.3						13				
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・簡易計算シート等を活用し、電力やガソリン使用量から自社の温室効果ガスの排出量を把握しており、太陽光発電と蓄電池を設置するなど削減に取り組んでいる。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15		
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境（生物多様性や生態系等）に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・ビニールハウスで使用する長期張りフィルムの推進等により、フィルム廃棄量の抑制に取り組んでいる。 ・自社農場での有機農業の拡大、普及に取り組んでいる。						6.6								14	15		
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル）に取り組んでいる。	●		・環境に配慮した資材、製品の利用を促進している。 ・社員食堂の生ごみたい肥化と自社農園での利用など循環型農業に取り組んでいる。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15		
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・農業用水の水質検査を行い、一定の安全確保を実践している。 ・「節水」への取組みを推進している。 ・IPM推進により化学農薬の削減に取り組んでいる。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる（グリーン購入、リサイクル製品認証等）。	●		・環境に配慮したPB品の普及、推進に取組んでいる。 ・環境向上、制御や経済性を考慮した豊富な資材を取り扱っている。									9.4			12.4 12.5	13	14	15		
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●	・フードバンクへの参加、活動を行っている。 ・社員食堂の生ごみたい肥化と自社農園での利用など循環型農業に取り組んでいる。	1	2				6.4						12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●	・温暖化や大気汚染を軽減する環境浄化植物「サンパチェンス」の植栽を推進している。 ・社員食堂や自社農園での植栽管理など緑の創出に取り組んでいる。 ・年2回福祉施設への花球根の贈呈など緑の創出を推進している。											11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善またはや再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●	・自社にて太陽光発電と蓄電池を導入している。 ・農業ハウスの統合環境制御やモニタリング機器の普及推進により、 エネルギーの効率的な利用に取り組んでいる。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・”伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●							6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●							6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●	・バイオマスレジ袋の導入等、プラスチックの使用削減や環境に優しい素材の使用に取組んでいる。 ・長期展張可能なPB農業フィルムや生分解性資材の推進によりプラスチックの使用削減に向けて取り組んでいる。												12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●										9.4		11.2		13.1 13.3				
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2

SDGs達成に向けた取組みチェックリス 更新

事業者名：株式会社 興農園

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み（※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・商品・サービス提供時に想定されるリスクの洗い出しと対策を実施している。 ・提供する商品、サービスの質を確保するため、HP上へ問い合わせ窓口の設置や顧客へのヒアリングにより意見を聞き、関係者で共有、活用している。			3.9						9			12.4					
	38	【ユニバーサルデザイン 】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		事務所トイレを車いすの方でも使いやすいようにスペースを広げ、手すりの設置を行っている。 自社で開発した環境制御システムにおいて誰もが使いやすいようタッチパネルやつまみで調整できるような作りにしている。									9.1	10	11.7						17
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●	・社員食堂にて熊本県が主催する「くまもと食と農の発見事業」に参加し地産地消促進、県産食材のPRを実施している。		2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7					12.2	13.1		15		
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●	・UXアクセラレーションプログラムへの参加をきっかけに、社会課題解決のための新規事業の開発に取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●	・自社農場設立による農家の収益性向上研究やICT、新技術の活用により持続可能な農産業の実現に取り組んでいる。 ・高知大・九州大などとの産学連携により高収量実現のための試験研究へ取り組んでいる。		2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・地域の小学校への食育学習「食育推進プロジェクト」への参加や福祉施設へ球根の寄贈を行っている。 ・社会奉仕、環境美化への貢献が評価され「緑のリボン賞」受賞している。 ・大学での講演など社会貢献活動に取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	44	【防災、減災、レジリエンス（自助）】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・事業所において、防災備蓄を常備している。 ・社内掲示版等において従業員がハザードマップを閲覧できる状態にし、避難場所を周知している。 【予定】1年以内にBCP策定を予定している。				4							11.5		13.1			16	
	45	【防災、減災、レジリエンス（共助）】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●	・事業所内に防災備蓄や防災グッズを備えており、災害時には被災地域への配布や被災者への支援を積極的に行っている。 ・従業員の地域消防団への参加を推奨している。 ・JA宮崎中央と災害復旧で業務提携（復旧支援体制）を構築している。	1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●	・災害時でもジャストインタイム制による迅速な配送ができる体制が整っている。									9		11	12	13.1				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	・部門横断的な「SDGs委員会」を設置し、事業活動において社会課題の解決に繋がる取り組みを推進するとともに、定期的な開催により課題解決と進捗の共有を図っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	・学生のインターンシップや支援学校の職場体験を積極的に受入れている。				4				8.6		10.2							17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●	・地元の生徒、学生を積極的に雇用している。 ・ブライト企業の認定を受け、県内就職向けイベントに積極的に参加している。				4.4				8.5 8.6									17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●	・自社農場設立による農家の収益性向上研究を行う等、農業従事者の担い手確保に繋がる取り組みを地域と連携し取り組んでいる。 ・スマート農業やIPM防除など、農業技術に関する講習会や視察受け入れを積極的に行い担い手確保に向けた取り組みを推進している。		2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15		17

25　25

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。